

# V 施工(1. 施工計画) ①重要事項の解説

「1. 施工計画」で2回以上繰り返し出題のある重要項目(H8～H27)は、下記の通りである。

## (1) 施工計画

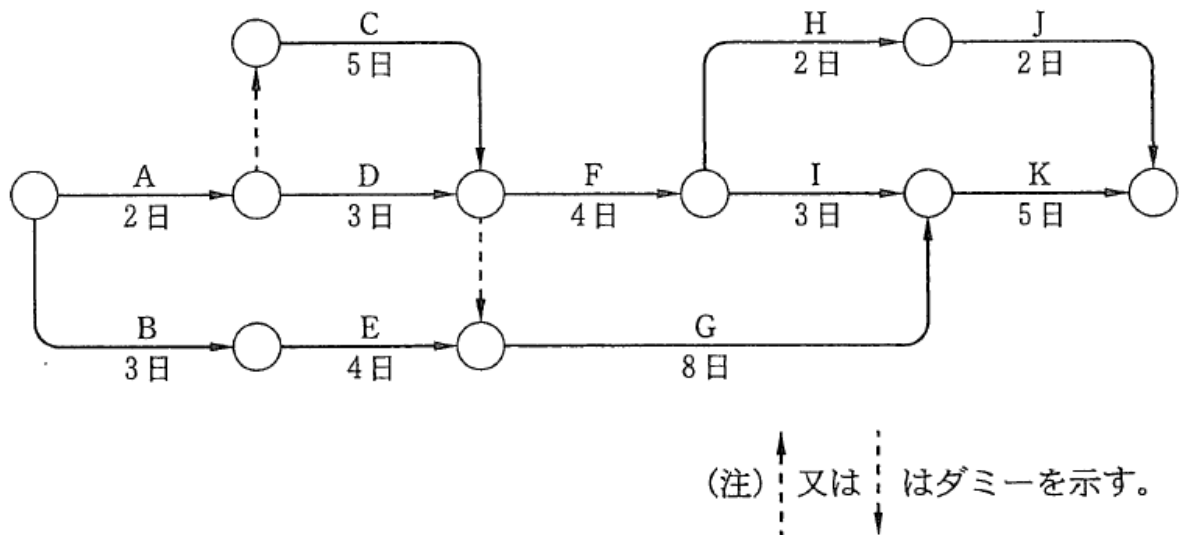
※過去に選択肢問題として13回出題有

- 施工計画を立てるに当たっては、**設計図書**を重視した。
- 施工要領書は、個々の工事について、工期、使用材料、施工方法など**具体的に記載**する。
- 施工計画書の基本工程表は、主要な工事項目と、検査、承認等の日程も記入し、**監理者の承認**を受ける。
- 工種別施工計画書は、各工種ごとに作成するものであるが、工種によっては**省略**することもある。
- 工種別の施工計画書は、総合施工計画書に基づいて、工種別に定めたものであり、**施工要領書**を含む。
- 総合施工計画書は、工事の着手に**先立ち**、総合仮設を含めた工事の全般的な進め方や主要工事の施工方法、品質目標と管理方針、重要管理事項等の大要を定めたものである。

## (2) ネットワーク工程表

※過去に選択肢問題として10回出題有

- ネットワーク表示の工程表で、トータルフロートが最小のパスを**クリティカルパス**といい、これを重点管理する。
- 以下はネットワーク工程表に関する全て**正しい記述**である。



- この工事全体は、最短20日で終了する。
- C作業の所要日数が3日減少しても、別のクリティカルパスが変わらないので工事全体は変わらない。
- D作業のフリーフロートは、2日である。
- I作業の所要日数が2日増加すると、この工事全体の作業日数は、1日増加する。
- J作業のトータルフロートは、5日である。

## (3) 工程表

※過去に選択肢問題として6回出題有

- 工程表の作成に当たっては、気候、風土、習慣等の**影響**を考慮した。
- 工期全体にわたる工事の実施工程表(全体工程表)は、施工の順序及び工期全体を監視できるものであり、大きな設計変更等があった場合には、速やかに**訂正**されなければならない。

## (4) 山留め工事

※過去に選択肢問題として4回出題有

- 山留め工事で、敷地の高低差が大きく偏土圧の作用が予想されたので、**地盤アンカー工法**を採用した。
- 山留めに用いる地盤アンカー工法において、「引張材とセメントミルク」及び「セメントミルクと地盤」のそれぞれの密着性を高めるために、注入後にもセメントミルクを**加圧**する計画とした。

## (5) ALCパネル工事

※過去に選択肢問題として3回出題有

- ・ALCパネル工事の下地鋼材の検討は、鉄骨に取り付けるため、鉄骨図の検討と**同時**に行わないといけない。
- ・鉄骨の工作図は、施工性、構造細部の納まり、設備配管用の梁貫通スリーブを検討し、監理者の**承認**を受ける。

## (6) 鉄骨の建方

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・ターンバックル付き筋かいを有する建築物の鉄骨の建方は、その筋かいを**用いない**で建入れ直しを行う。
- ・鉄骨工事の建方において、架構の倒壊防止用ワイヤーロープを建入れ直しに**兼用**する計画とした。

## (7) 事前提出書類

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・施工者は、部材、部品等の工場生産に**先立ち**、工場生産者に、製作図、製作要領書、製品検査要領書、生産工程表、品質管理要領書等の作成を求め、提出させる。

## (8) ひび割れの補修

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・コンクリートの乾燥収縮ひび割れ補修は、型枠取外し後、仕上材の施工前にできる限り**長**期間経過した後に行う。

## (9) エレベーターの仮使用

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・積載荷重1t以上の本設エレベーターを工事用として仮使用する場合、設置報告書を**労働基準監督署長**あてに提出して落成検査を受けなければならない。

## (10) 軽量コンクリートのポンプ圧送

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・軽量コンクリートの打込みをコンクリートポンプにより行うに当たって、高所圧送や長距離圧送の場合には、輸送管内での**閉塞**等を避けるため、輸送管の呼び寸法を**125A**とする計画とした。